

まちづくりとは、小さな希望をあつめ、人々のつながりの中でそれを育て、日常の暮らしと、それをささえる空間を作り出す技術です。

全ての暮らしと空間が、根こそぎ奪われてしまいました。しかし、私たちはそこに新しいきずなと希望を探るところから始めなくてはなりません。

復興への手がかりと希望の芽をさぐり、それを多くの人々と共有するため、日本建築学会まちづくり支援建築会議では総力をあげて『まちづくり展』を開催します。

まちづくり展

2011年4月12日(火)～22日(金)
会場：建築博物館・ギャラリー(東京都港区芝5-26-20)
主催：日本建築学会まちづくり支援建築会議

連続ワークショップ

4月12日～15日、17日～22日 13時30分～16時30分(定員15名)
ゲストによる発題の後、参加者全員で議論を行います。議論の成果は日々蓄積され、最終日に総括討論が行われます。1回の定員15名。事前申込みを受け付けます。ただし、事前申込みをしていない方も、数に余裕がある場合には当日ご参加いただけます。

シンポジウム

4月16日 13時30分～17時 会場：建築会館ホール(定員150名)
参加費：建築学会会員1,000円、会員外1,500円、学生500円
参加希望者は、氏名・所属・連絡先を明記の上、E-mailがFAXでお申し込みください。

パネル展

4月12日～22日 10時～18時
被災地の現状/被災地の過去/2000年代の災害復興事例のパネル展示のほか、映像展示も行われます。

学生シャレットワークショップ

震災復興からまちづくりへ

いかに、コミュニティーを維持しながら、安全な住環境と新たな生業のありかたを再構築するかを考える
4月17日～21日 7時～18時(17日のみ9時スタート)(定員20名)
約20名程度の大学院生を募集する(名前、メールアドレス、電話番号、所属大学名、研究室、学年を明記し、m.kob@gol.com(小林正美)に申し込むこと。先着順)

チラシ ver2.8 / このチラシは企画が固まり次第更新していきます

USTREAM による配信決定!

詳細はまちづくり支援建築会議のウェブサイトへ
<http://new-s-va.ij.or.jp/shien/s1/>



申込・問合せ まちづくり支援建築会議事務局(担当一ノ瀬)
E-mail:machi@aij.or.jp/FAX03-3456-2058/TEL03-3456-2016

22日 総括討論

中林一樹(明治大学)+加藤孝明(東京大学)
モデレーター 北原啓司(弘前大学)+西村幸夫(東京大学)

21日 大災害に備える国土と事前復興

中林一樹(明治大学)+澤田雅浩(長岡造形大学)+小林正美(明治大学)
モデレーター 川原晋(首都大学東京)+窪田亜矢(東京大学)

20日 今こそ考える国土計画論

蓑原敬(蓑原計画事務所)+戸沼幸市(日本開発構想研究所)+鳴海邦碩(関西大学)
+市古太郎(首都大学東京)
モデレーター 佐藤滋(早稲田大学)

19日 長期避難と仮り住まい

佐々木龍郎(佐々木設計/仮り住まいの輪)+齋藤實(前東京都総合防災部/三宅島の対策)
モデレーター 饗庭伸(首都大学東京)

18日 漁村・離島の再生+社会経済・港湾の再生

富田宏(漁村計画研究所)+岡田知子(西日本工業大学)+山崎寿一(神戸大学)
+早田宰(早稲田大学)
モデレーター 三宅諭(岩手大学)

17日 学生シャレットワークショップ

-21日

参加専門家(予定):佐藤滋、小林正美、倉田直道、北原啓司、出口敦、有賀隆、小浦久子、野澤康、鶴心治、野嶋慎二、窪田亜矢、岡絵理子、姥浦道生、高橋潤、小池博ほか
モデレーター 小林正美(明治大学)

16日 シンポジウム

小林郁雄+北原啓司+西村幸夫+中林一樹+野澤康+森崎輝行+佐々木龍郎+佐藤滋
モデレーター 小浦久子+野澤康+饗庭伸

15日 復興まちづくりと仮設市街地

田口太郎(新潟工科大学)+濱田甚三郎(首都圏総合計画研究所/仮設市街地研究会)
モデレーター 佐藤滋(早稲田大学)+三井所清典(アルセッド)

14日 風景のストックを再生するために

水野雅男(法政大学)+進士五十八(東京農業大学)+大西隆(東京大学)+三宅諭(岩手大学)
モデレーター 佐藤滋(早稲田大学)

13日 集落の再生

澤田雅浩(長岡造形大学)+重村力(神奈川大学)
モデレーター 野澤康(工学院大学)+饗庭伸(首都大学東京)

12日 オープニング

/神戸からのメッセージ

小林郁雄(神戸山手大学/きんもくせい)+青池憲司(映画監督/野田北部の人々)+真野洋介(東京工業大学)
モデレーター 北原啓司(弘前大学)+小浦久子(大阪大学)

17日 9:00～18:00

(オリエンテーション・班分けなど)

18日～21日 7:00～18:00

(13:30～16:30は通常ワークショップ参加)

東日本大震災という未曾有の大災害に直面し、亡くなられた方々や被災者の方々に思いを寄せるのと同時に、私たちは被災した町々の将来のイメージについて、具体的な可能性を考えて行かなくてはなりません。そのためには、被災した都市が持つ様々なタイプの地形、流域圏、風土、コミュニティー、産業などに関して丁寧に分析し、あり得る復興まちづくりのプロセスを複数示していく必要があります。本ワークショップでは、行政や被災した方々が今後具体的な復興まちづくりの方向性を考えるための参考となり得る計画・構想の基礎的な考え方を、専門家と学生たちが短期間に集中して追求し、提案します。

なお、電力に頼りすぎてきたこれまでの生活スタイルを反省し節電効果を得るために、本ワークショップでは毎日早朝から開始し、夕刻に終了することを試みます。